手紙

慶応三年六月二十四日　坂本権平あて

坂本龍馬

青空文庫

一筆啓上仕候。益御安泰可被成御座愛度御儀奉存候。降而私儀無異乍不及国家之御為日夜尽力罷在候。乍失敬御安慮可仰付候。然ニ先頃西郷より御送被遣候吉行の刀、此頃出京ニも常帯仕候。京地の刀剣家ニも見セ候所、皆粟田口忠綱位の目利仕候。此頃毛利荒次郎出京ニて此刀を見てしきりにほしがり、私しも兄の賜なりとてホコリ候事ニて御座候。此頃出京役人ニも度会し、国家ニ心配仕候人ハ後藤象次郎、福岡藤次郎、佐々木三四郎、毛利荒次郎ニて、中ニも後藤を以て第一の同志致し、天下の苦楽を共ニ致し申候。御安心可被遣候。余事拝顔の時、万申上候。恐惶謹言。

六月廿四日　　直柔

権平様

左右

追白

此度ハ取急候間、何もくハ敷ハ申不遣候。京地の勢ハ大勢帰国仕候ものに御聞可被遣候。

私先頃京の道ニて四月廿三日之夜中国海ニて、私しが蒸気船と紀州の蒸気船と突当り、私しの船が沈没仕候より、長崎へ帰り大義論を発し、ついに紀州と一戦争可仕と、私が部下のものへハ申聞、用意仕候内、紀州の方より薩州へ頼申、書キ物を以て勘定奉行らが断りに出かけ、

日　手尽し候ものから其まゝニさしゆるし候事ニ仕候。
皆人の申候ニハ、此龍馬が船の論なるや、日本の海路定則を定メたりとて、海船乗らハ聞に参り申候。
御笑可被遣（おわらひつかはさるべく）候。

再拝。

青空文庫情報

底本：「龍馬の手紙」宮地佐一郎、講談社学術文庫、講談社
2003（平成15）年12月10日第1刷発行
2008（平成20）年9月19日第7刷発行
※底本手紙の写真のキャプションに、（高知　弘松家文書）とあります。
※丸括弧付きの語句は、底本編集時に付け加えられたものです。
※直筆の手紙の折り返しに合わせた改行は、省いて入力しました。
入力：Yanajin33
校正：Hanren
2010年8月26日作成
2011年6月17日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

手紙

慶応三年六月二十四日　坂本権平あて

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　坂本龍馬
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/